次世代につなぐ橋：

明治32年の木橋から3代目　歴史を継承するシンボル橋

2020年3月（栃木県小山市・思川）

◆栃木市と小山市をつなぐ重要な橋

「観晃橋」の名前の由来は、「日光」を「晃」の字で表現し、日光連山の眺望を観ることのできる素晴らしさにちなんで命名されています。橋周辺の河川敷では夏には盛大に花火大会が開かれます。

◆市民が親しめる現代的イメージを求めて

1977年に旧橋が洪水で被害を受けたため、架け替えにあたり市民から「無機質な橋でなく人間性や美観に配慮した橋にできないか」という声を受けて、河川環境との調和を重視したデザインとしました。

岡村幸二（JRRN会員）